

労働市場の概要（平成24年1月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成24年1月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.00倍となり、前月と同水準。
前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が1.2%減少し、有効求職者数(季節調整値)も0.7%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(15.8%増)、運輸業・郵便業(10.1%増)、卸売・小売業(25.6%増)、宿泊業・飲食サービス業(10.3%増)、医療・福祉(15.5%増)、サービス業(他に分類されないもの)(7.9%増)で増加し、製造業(4.3%減)では減少したが、全体では対前年同月比13.6%増と19ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で0.9%増と11ヶ月ぶりに増加した。

有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準で、前年比較でも改善が続いており、県内の雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

しかしながら、海外経済の減速や円高などの影響も今後注視していく必要がある。

1 有効求人倍率(季節調整値)

1月の有効求人倍率は1.00倍となり、前月と同水準。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 1月の有効求人は38,039人で、対前年同月比(原数値比較)で24.6%増加し、対前月比(季節調整値比較)では1.2%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で21ヶ月連続での増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 1月の有効求職は34,235人で、対前年同月比(原数値比較)で5.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも0.7%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で24ヶ月連続での減少となった。

(3)1月の正社員の有効求人倍率は0.67倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

1月の新規求人倍率は1.45倍となり、前月より0.06ポイント低下した。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 1月の新規求人は15,313人で、対前年同月比(原数値比較)で13.6%増加し、対前月比(季節調整値比較)では3.0%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では19ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業 15.8%の増加(16ヶ月連続で増加)

製造業 4.3%の減少(8ヶ月ぶりに減少)

運輸業・郵便業 10.1%の増加(17ヶ月連続で増加)

卸売・小売業 25.6%の増加(18ヶ月連続で増加)

宿泊・飲食サービス業 10.3%の増加(3ヶ月連続で増加)

医療・福祉 15.5%の増加(19ヶ月連続で増加)

サービス業 7.9%の増加(22ヶ月連続で増加)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 1月の新規求職は10,240人で、対前年同月比(原数値比較)で0.9%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも0.7%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は11ヶ月ぶりの増加となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は538,455人で、対前年同月比1.0%の増加となり、25ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、8,694人で対前年同月比は7.9%減少し、受給率は1.6%であった。